

## 2. 看護部

### 《概要》

#### 〔看護部の理念〕

1. 地域の中核病院として急性期、救急、災害の医療ニーズに対応できる質の高い看護を提供する。
2. 専門職として、主体性を持ち、継続学習に努める。

#### 〔平成 20 年度看護部目標〕

1. 看護の質の向上
  - 1) 病院機能評価に対応できる内容（ケアプロセス）が実践できる
  - 2) 認定看護師の実践活動のスキルアップが出来る
  - 3) 院内エキスパートの教育再編成を行うことが出来る
  - 4) 各看護単位で、TQM発表が出来る
2. 人材育成
  - 1) 中途退職を出さない
  - 2) 看護部 8 か条を実践に移し良い職場風土をつくる
  - 3) 看護管理者の育成
  - 4) 学生の採用者をアップするための関わりが出来る
3. 経営参画
  - 1) 病床管理・・病床稼働率 95%以上を目指す
  - 2) リリーフ体制の確立と標準化
  - 3) DPCのスムーズな導入のための参画を行う
  - 4) 処置、検査の物品セット化の評価を行なう
4. 働きやすい環境づくり(ワークライフバランス)として選べる看護体制の検討を試行する  
例：二交替制勤務の可能性・試行  
短縮時間勤務者の導入  
夜勤専従看護師の可能性・試行・導入 など

#### 〔方針〕 1人1人が自分の役割を認識し、主体的に行動する

平成 20 年度は、7 月 DPC の導入と同時に看護実質配置 7 : 1 の取得。8 月 2 日に泉州広域母子医療センターとして、6 階山側病棟およびNICU/GCUの拡張工事行い、8 月本格稼働。さらに、12 月 24 日から 26 日まで病院機能評価 (Vr. 5) の受審、3 月は、大阪府がん拠点病院として認定され、緩和ケアチームを立ち上げめまぐるしい年であった。

看護においては、上記の 4 つの目標を掲げ実践してきた。

まず、1 つ目の看護の質の向上について

病院機能評価を受審した結果、看護においてほとんどが 4 評価で (適切に行なわれている/適切な形で存在する/積極的に行なわれている)、3 評価 (中間) は、業務分担についての他職種との定期的な検討を行い改善しつなげる仕組み作りと看護ケア提供の基準・手順のタイムリーな修正と整理のみで非常に良い結果であった。

看護の質向上のため、専門看護師と認定看護師の育成に重点を当て6月救急看護認定看護師1名と集中ケア認定看護師1名が誕生し、専門看護師1名・認定看護師4名となった。今後も積極的な育成を目指すため、看護部に「看護管理室」とは別に「急性期ケア推進室」を作った。「急性期ケア推進室」は専門・認定看護師が所属し、複雑かつ難易度が高い看護問題を看護師と協働して解決することを目的とし、自由アクセスとし、看護の能力を伸ばし、看護の質が向上できるようにシステム化した。

また、平成19年12月厚生労働省医政局より、『医師および医療関係職と事務職員との間等での役割分担の推進について』の通知が出され、医師業務であった静脈注射を看護師で行なう準備をし、薬剤のミキシングは薬剤師に採血は検査技師に役割分担を推進する方向性で進めた。看護師の静脈内注射の研修は全員対象とし、安全に行なえるように、3月から取り組み次年度継続する。また、薬剤師によるミキシングの検討、検査技師による採血は採血チームを作ることで、次年度に持ち越し検討とした。

2つ目の目標の人材育成に関しては看護師8か条(看護師の心得に匹敵するもの)の実践を各病棟の現状にあった形で、取り組み人間関係作りから始めた。人材育成を人財育成(人は財産)の考えに基づき、「教える」から「育てる」の意識改革を推進してきた。また、学生にも同様で、学生のときから採用につなげられるような関わりを持てるように、実習指導者会の充実に力を注いだ。中間管理者においては、「なりたくない」看護師が多く、副看護師長欠員状況で今後の課題でもある。また、中途退職も数年前から多く、人材育成・看護の質向上を阻む要因でもあり、目標として中途退職を出さないことも前面に出し努力は行なったが、中途退職は止まらなかった。

3つ目の経営参画で看護部が出来ることは、病床管理95%達成を目指したが、広域母子医療センターの発足に伴い、工事による病床数減や、救急告示の取り下げ等の影響もあり、達成できなかった。しかし、看護師実質配置7:1の算定は看護部として経営に参画できた。また、7:1の継続の一環として、リリース体制(応援体制)を検討し体制作りを行った。

4つ目の目標は働きやすい環境作り(ワークライフバランス)として、選べる看護体制を検討。昨年のアンケートの結果から3交替より2交替の方が良いと答えた3病棟(6海・7海・ICU)に於いて二交替の可能性を考え検討した。6階海側病棟はまず、9月から本人の希望する交替制勤務を取り入れた勤務(二交替・三交替ミックス)から始め3ヵ月後は、全ての看護師が二交替制勤務を臨み、試行のまま二交替制勤務を行っている。7階海側病棟・ICU病棟も自部署の問題点をクリアしながら二交替制勤務の調整を行ってきたが、労使関係での合意をみず、試行に至らなかった。また、パートの応募者が多く、病棟への可能性も踏まえ病棟配置人員に加え、病棟に応援体制出来るようにした。

《実績》

1. 平成20年度看護部の委員会活動状況

委員会名	目的	計画	活動内容
教育委員会	看護師の質的向上を図るために市立泉佐野病院看護部の理念に応じた人材育成と看護の質の向上を目指す	1、集合教育研修のおよびOJTの実行・修正 2、看護部の目標に合わせた講演会の開催 3、エキスパートチームとの連携を取った教育の実践	1、計画通りに昨年度の課題を踏まえながら研修が実行できた。 2、コミュニケーションスキルを高めるために、外部より講師を招き2回講演会を行った。 3、集合教育に急性期ケア推進室メンバーに協力を得た。また、教育委員会メンバーの能力アップをめざし北村CNSより「クリティカルシンキング」の講義と事例検討を行った。
記録・看護基準・手順委員会	提供する看護の質を保証するとともに、業務の安全性と活用化のために、実践に即した充分活用できるものを作成・改定していく	1、看護過程の一連の記録が適切にできる。 2、記録の効率化をはかる。 3、看護記録マニュアル、看護基準、手順マニュアルの見直しと修正の継続	1、看護記録監査の実施 2、記録時間短縮に向けての目標設定を行い短縮できた。また、クリニカルパス新規作成2事例ができた。 3、マニュアルの見直し、修正は必要部分には行ったが、検査手順については見直しは行ったが差し替えまでには至らなかった。
業務委員会	看護業務が安全かつ効率的に遂行でき、看護の質向上が図れるように看護業務(看護用品を含む)の改善や見直しを行う	1、術前チェックリスト・検査チェックリスト・各診療材料セットを評価する。	1、術前チェックリスト・検査チェックリストについては使用後の評価をもとにチェックリスト自体の修正を行った。診療材料セットについては評価をもとにセット内容の一部変更を行った。
安全推進者委員会	医療事故をなくすために、日常看護業務全般の見直しと改善策に対する看護職員の意識を高める教育活動を行う	1、転倒転落の防止のためのアセスメントスコアシートを作成と運用を行う。 2、インスリンスケール表の運用と血糖チェック忘れ防止を行う 3、身体抑制に関するガイドラインの作成と実施 4、安全推進者の知識向上を目指した教育の実施	1、アセスメントスコアシートは作成運用はできた。しかし、現在のスコアシートでは大多数の患者がリスク有となるため、アセスメントスコア自体の見直しが必要。また、転倒転落件数減少には繋がらなかった。 2、インスリンスケールの問題点抽出までしか進まなかった。 3、ガイドラインの作成と運用もできた。 4、安全管理者による6回の学習会を実施した。
褥瘡・NST委員会	医療の質向上を目指し、栄養サポートを推進するための活動チームと、褥瘡委員会の活動が円滑に運営できるように看護部門の問題を検討すると共に、褥瘡及び栄養に関する看護の役割が実践できるように各職場に推進する。	1、栄養管理加算、看護サイドは100%達成する。 2、NSTおよび褥瘡マニュアルの活用度を高める。 3、学習会の内容検討および参加率を高める。 4、褥瘡回診に参加する。 5、ウレタンマット更新時、褥瘡委員会に協力できる。	1、マニュアルを見やすくする工夫を行った。このことについては泉州地区NST研究会で発表を行った。 2、昨年に比べると上昇し90%の加算率となったが部署ごとの働きかけによって差があった。 3、学習会の内容を変更し、現場で生かせる内容とした。学習会は8回開催したが12部署中8部署の参加率上昇が見られた。 4、ウレタンマットのスムーズな入れ替え実行できた。
看護研究委員会	看護師として必要な研究態度を養い、看護研究が出来る基礎的能力を高める	1、院内看護研究発表会がスムーズに開催できるようにサポートする。	2009年2月14日院内看護研究発表会の実施。

## 2. 院内教育

### 1) 対象者別研修 (看護師)

対象	テーマ	方法	実施日	対象者
新規採用者	りんくう医療センターの概要	講義	4月1日	35
	医療の方向性と当院の現状	講義	4月1日	35
	看護部の概要	講義	4月1日	35
	接遇	講義	4月1日	33
	NEC操作研修	講義・演習	4月3日	27
	災害	セフティペア見学・体験	4月3日	31
	感染予防	講義・演習	4月4日	33
	人権	講義 人権センター見学	4月4日 4月18日	33 31
	個人情報保護法	講義	4月7日	33
	看護必要度	講義・演習	4月7日	28
	安全研修 (他部門)	講義	4月7日	32
	フィジカルアセスメント	講義	4月7日	28
	医療安全	講義	4月11日	32
	物品管理	講義	4月21日	32
	保険診療	講義	4月21日	32
	インフォームドコンセント	講義	4月21日	32
	防災	講義	4月21日	32
	看護記録	講義	4月21日	25
	STEP1	看護技術 (移動・ボディメカニクス・経管栄養)	講義・デモンストレーション	4月3日
看護技術 (採血・皮下・筋肉・インスリン注射、吸引)		講義・デモンストレーション	4月3日	24
看護技術 (静脈注射)		講義・デモンストレーション	4月11日	25
1ヶ月のまとめ		グループワーク	4月21日	23
安全演習		演習	5月20日	23
救急蘇生、心電図		講義・デモンストレーション	5月20日	23
2ヶ月のまとめ		グループワーク	5月29日	23
安全研修		演習	5月29日	23
成長するために必要な姿勢		グループワーク・事例検討	6月20日	23
one for all ,all for one		講義 ゲーム型トレーニング	10月17日	22
せん妄患者のケア		講義	12月17日	22
まとめの研修と課題「発表 私の課題」	レポート発表	3月24日	21	
STEP2	受持看護師の役割	講義、グループワーク	5月16日	22
	ケースレポート報告	発表・聴講	9月25日	17
	フィジカルアセスメント	講義・演習	10月23日	16
	ICU・OP研修	実習	12月1日 ～1月15日	15
STEP3	1年を振り返って受け持ち看護師になれたかな	グループワーク	2月20日	17
	役割とリーダーシップ	講義、グループワーク	6月13日	15
	リーダー業務とは	グループワーク	9月19日	12
	私の看護観	発表・聴講	1月27日	11
プリセプター	プリセプターとは	講義	3月26日	9
	プリセプター情報交換と問題解決	グループワーク	6月26日	23
	プリセプターの役割	講義	9月12日	25
全体教育	まとめの研修 (バズセッション)	グループワーク	2月26日	20
	接遇・コミュニケーションスキルを 職員間のコミュニケーションスキルを高める	講演会	7月18日 1月7日	94 85
(看護助手)				
	テーマ	方法	実施日	対象者
	安全に看護助手業務を行うために	講義・グループワーク	7月24日	21
	接遇	講義	10月14日	32
	院内感染	講義・演習	11月19日	32

2) 専門看護コース  
重症集中ケアコース

テーマ	方法	実施日	参加者
危機的状態の把握とアセスメント（循環の病態・生理）	講義	7月12日	10
生命危機状況を安定させるための看護援助（循環編）	講義	7月12日	10
補助循環使用中の患者の看護	講義	8月9日	9

感染管理コース

テーマ	方法	実施日	参加者
感染管理の基礎知識	講義	8月20日	10
感染予防策の実際	講義	9月16日	10
消毒・滅菌の基礎知識	講義	10月7日	10
サーベイランス	講義	10月18日	10
職業感染	講義	11月13日	10
微生物の基礎知識	講義	11月17日	10
感染症の基礎知識	講義	12月2日	10
薬剤の基礎知識	講義	1月26日	10
医療及び看護場面における感染予防策	講義	2月7日	10
ファシリティ・関連法規	講義	3月6日	10

3. 院外教育

1) 看護協会主催 研修

主催	講習・研修会名	期間	回数	開催地	受講人数
大阪府看護協会	大阪府主催短期研修	4月1日～3月31日	48	大阪府看護協会	79
大阪府看護協会	大阪府保健師助産師看護師実習指導者講習会	10月27日～11月5日	1	大阪府看護協会	1
大阪府看護協会	認定看護管理者教育 ファーストレベル	8月22日～11月21日	1	大阪府看護協会	1

2) その他の研修

主催	講習・研修会名	期間	回数	開催地	受講人数
自治体病院協議会	管理者研修	11月26日～11月28日	1	大阪府	2

3) 認定看護師研修

主催	講習・研修会名	期間	開催地	受講人数
日本赤十字看護大学	がん化学療法看護コース	6月1日～11月30日	東京都	1
日本看護協会 看護研修学校	糖尿病看護学科	6月2日～3月5日	東京都	1
大阪府立大学 大学院	看護学研究科	4月2日～3月23日	大阪府	1

4) 認定看護師学会参加

学会・講習・研修会名	期間	回数	開催地	受講人数
感染管理認定看護師のためのキャリア ディベロップメント講座	1月9日～10日	1	東京	1
第36回日本集中治療学会	2月26日～28日	1	大阪	3
第39回日本看護学会（成人看護）	10月1日～2日	1	愛媛	3

#### 4. 研修生受け入れ

##### 1) 看護専門学校学生実習受入

学校名	学年	期間	延べ人数	実習場所
泉佐野泉南医師会 看護専門学校	1年生	10月7日～10月16日	228	5海、6海、6山、7海、7山、8海、8山
泉佐野泉南医師会 看護専門学校	2年生	12月1日～2月19日	996	5海、7海、7山、8海、8山
泉佐野泉南医師会 看護専門学校	3年生	5月7日～11月27日	1,344	5海、6海、6山、7海、7山、8海、8山
岸和田市医師会 看護専門学校	3年生	5月12日～10月5日	300	6山、外来
日本医療学園 東亜看護学院(通信制)	2年生	8月18日～19日 8月25日～28日	16	6海、6山

##### 2) 大学実習生受入れ

学校名	学年	期間	延べ人数	実習場所
大阪大学医学部 保健学科	4年生	11月17日～12月12日	20	6山

##### 3) 大学院生実習受入れ

学校名	学年	期間	延べ人数	実習場所
大阪府立大学大学院	1年生 (CNSコース)	7月24日～8月20日 (内15日間)	1	急性看護学実習 (トータルペイントコントロール)
大阪府立大学大学院	1年生 (CNSコース)	11月17日～12月3日	1	CNSの院内の活動
大阪府立大学大学院	1年生 (CNSコース)	12月4日～12月19日	1	CNSの院内の活動
公立大学法人青森県立 保健大学大学院	1年生 (CNSコース)	2月23日～2月27日	1	CNSの院内の活動
山梨看護大学大学院	1年生 (CNSコース)	3月2日～3月6日	2	CNSの院内の活動
山梨看護大学大学院	2年生 (CNSコース)	3月9日～3月13日	1	CNSの院内の活動
神戸市看護大学大学院	2年生 (CNSコース)	7月28日～8月1日	2	CNSの院内の活動
東京医科歯科大学大学院	1年生 (CNSコース)	9月2日～9月4日	1	CNSの院内の活動

##### 4) その他

学校名	内容	期間	延べ人数	実習場所
泉佐野市立佐野中学校 2年生	職業体験	9月9日	3名	外来、6山、7海
府立佐野高校 3年	1日看護体験	8月6日	5名	8海、8山
府立日根野高校	1日看護体験	8月6日	2名	7海、6山
府立和泉高校	1日看護体験	8月6日	1名	5海
訪問看護ステーション	病院研修	1月8～10日	6名	8海、8山、ICU、外来
潜在看護師	見学実習	8月19日	9名	8海、8山、7海、7山、6海、5海

《業績》

1) 看護研究の院内発表 (一般)

所属部署名	研究者	テーマ
NICU	殿本美保 河野智美 亀山沙和 元林好美 兵頭英美 成川友紀	帝王切開でNICUに入院した児の母親の気持ちの調査 -初回面会までの具体的介入の方法を探る-
中央放射線部	西村さおり 加藤和枝 藤本ゆかり	初めての心臓CT検査を受ける患者の気がかりなことに対する援助
7階山側病棟	古谷美夏 藤田智也 壽慶奈津子	循環器疾患患者がせん妄となる要因の実態調査
8階海側病棟	高浦聖乃 野田樹里 長岡綾子	乳癌患者におけるラジオ波焼灼療法を選択するまでの意思の調査
5階海側病棟	福本晃子 山田隆子 齋藤ゆかり 玉井佳奈 金光亜希子 貝原佐和子 山岡夕子	顔面神経麻痺、三叉神経麻痺に伴う運動・知覚障害改善のためのプログラムの効果
7階海側病棟	神藤紗矢香 及川恵美 森下麻衣子	肺切除術を受ける高齢患者の術後肺合併症予防に対する統一した呼吸訓練指導の効果
8階山側病棟	杉野幸恵 光永邦恵 射手矢雅子	造血幹細胞移植看護の統一に向けて -アンケートによる実態調査から-
ICU/CCU	明全潤子 中原 薫 菊次優太	ICU/CCU看護師のストレスの実態調査
中央手術部	南 千寿 辻 美恵	急変時シミュレーションの有効性についての検討
6階山側病棟	中 優子 清水真紀	妊婦検診と異なる施設での分娩する妊婦褥婦が必要としている看護 -病院集約、その時妊婦褥婦は何を感じたのか-
外来	西村直美 宮下 明 崎川和枝 山川拓也 阿久根智子 栗原綾子 常国哲郎	腹膜透析の患者指導を振り返る -透析室看護師の指導状況調査-

2) 看護研究の院外発表 (一般)

学会名	月日	発表者	所属部署名	テーマ
第73回日本循環器学会	2009年 3月20日	濱野江利子 中裕恵 東村晃明 奥出恵子 北村愛子	7山	看護の視点から見た急性期心臓リハビリテーションプログラム
第14回日本糖尿病教育・看護学会	2008年 9月19日～20日	西村直美	8山	教育入院における認定看護師の役割とは～腎症の進行を指摘されている壮年期男性の事例からの学び

3) シンポジスト・パネルディスカッション (専門・認定看護師)

学会名	月日	発表者	所属部署名	テーマ
第4回クリティカルケア学会	2008年 5月10日～11日	北村愛子	看護管理室	質の高いクリティカルケア看護の提供を目指して
第1回看護倫理学会	2008年 6月15日	北村愛子	看護管理室	専門看護師の倫理調整の役割と実践
第18回日本集中治療医学会(九州)	2008年 7月4日～5日	北村愛子	看護管理室	クリティカルケアにおける患者・家族の精神的対応と偏り 的側面の対応 クリティカルケアにおける多職 種コーポレーションの推進と 専門看護師の役割
トータルペインコントロール の考え方と実際・・・	2008年 8月3日	北村愛子	看護管理室	集中治療と終末期医療
専門看護師国際シンポジウム	2008年 8月9日	北村愛子	看護管理室	日本における専門看護師の 現状と課題－裁量権の獲得・ 拡大と実践、教育、研究上の 課題
第17回日本集中治療医学会 (関東)	2008年 8月30日	北村愛子	看護管理室	集中治療と終末期医療－多 職種コーポレーションと倫理 的側面の対応の観点から
物療学園公開シンポジウム	2008年 9月28日	北村愛子	看護管理室	患者と向き合うということ
第39回日本看護学会 -成人看護 I-	2008年 10月2日	北村愛子	看護管理室	急性期の知・技・心
日本看護科学学会	2008年 12月14日	北村愛子	看護管理室	看護の役割拡大に向けての イノベーション
第24回日本環境感染学会	2009年 2月27日	川西史子	感染症センター	MRSA罹患率に影響を与える 因子についての検討 針刺し自己防止対策 ～針の発見報告から～

4) 院外講師 (一般)

セミナー	月日	講師	講演場所	テーマ
FIT2008 [情報科学技術フォーラム]	2008年 9月2日～9月4日	新垣智子	慶應義塾大学 湘南藤沢キャン パス	医療現場における異文化間 コラボレーション
看護協会主催短期研修	2008年 9月25日	則村正文	大阪府看護協会	与薬におけるリスクマネジメン ト
看護協会主催短期研修	2008年 10月1日	則村正文	大阪府看護協会	医療安全管理者研修「薬剤 関連のエラーとその分析」
看護協会主催短期研修	2009年 2月25日	藤野正子	泉州救命救急 センター	安全研修

## (専門・認定看護師)

セミナー	月日	講師	講演場所	テーマ
危機的状態の患者アセスメント(循環)	2008年 7月12日	北村愛子	市立泉佐野病院	危機的状態の患者アセスメント(循環)
フィジカルアセスメント	2008年 7月13日	北村愛子	北野病院	フィジカルアセスメント 入門編～効果的な看護介入のためのアセスメント～
みんなで考える看護倫理	2008年 7月22日	北村愛子	大阪看護協会	看護者の倫理綱領 患者の権利と自己決定 職業倫理 事例を通じた倫理の視点でのグループワーク
重症患者・家族の理解とケアにつながるアセスメント	2008年 7月26日	北村愛子	香川県看護協会	重症患者・家族の理解とケアにつながるアセスメント
心臓血管外科看護セミナー	2008年 8月24日	北村愛子	福岡ソフトリサーチパーク	①心外術後の看護計画・看護の目標とは？ ②精神面のケア:シンドローム・家族ケア
	2008年 9月21日		関内新井ホール	
	2008年 10月19日		兵庫県農業会館	
集中ケア認定看護師研修	2008年 9月10日	北村愛子	日本看護協会研修センター	集中ケア看護概論2
平成20年度大阪看護連盟府北支部研修会	2008年 10月24日	北村愛子	高槻京都ホテル	プロフェッショナルな看護をめざして看護の仕事の実際から
日本集中治療医学会教育セミナー	2008年 11月15日	北村愛子	名古屋掖済会病院 救命救急センター講	クリティカルケア看護における看護実践の倫理
専門職看護に関する講演	2008年 11月22日	北村愛子	和歌山看護協会	プロフェッショナルな看護をめざして ケアリングを大切にしたい看護実践
術後精神障害の看護実践	2008年 12月10日	北村愛子	日本看護協会:神戸研修センター	術後精神障害に対する看護実践
S-QUE院内研修1000'Eナース	2008年 12月17日	北村愛子	東京	せん妄患者のケア
第6回日本クリティカルケア看護学会教育セミナー	2009年 1月10日	北村愛子	大阪 新梅田研修センター	トータルペインコントロールの考え方と実際
看護実践の倫理	2009年 1月16日	北村愛子	松下記念病院	看護倫理研修会
第1回大阪府救急看護認定看護師総会	2009年 2月7日	北村愛子	大阪府看護教育研修センター	災害における倫理とは
平成20年度感染予防対策研修会基礎コース	2008年9月6日 2008年11月8日 2008年12月6日	川西史子	京都府立医科大学	感染管理の基礎と感染防止に関する技術を習得し実践する
大阪府保健師助産師看護師実習指導者講習会	2008年9月12日 2009年1月8日	川西史子	大阪府看護協会 ナーシングアート大阪	医療安全② 感染管理
感染管理コース	2008年 10月25日	川西史子	介護老人保健施設悠々亭	サーベイランス概論 (BSI、UTI、VAP、SSI)

セミナー	月日	講師	講演場所	テーマ
認定看護師教育課程「感染管理」	2008年 12月10日	川西史子	日本看護協会 神戸研修センター	アウトブレイク発生時のICNの活動の実際
第4回四国感染対策セミナー	2009年 3月15日	川西史子	徳島県立郷土会館	現場で活かされる”感染対策マニュアル”
心臓血管外科看護セミナー	2008年 8月24日	濱野利江子	福岡ソフトリサーチパーク	心外手術後患者の呼吸管理のポイント
	2008年 9月21日		関内新井ホール	
	2008年 10月19日		兵庫県農業会館	
第4回日本循環器看護学会 教育セミナー	2008年 9月28日	濱野利江子	榊原記念病院 3階大会議室	重症心不全患者の最新治療と看護ケア
平成20年度認定看護師のためのフォローアップ研修 集中ケア分野	2008年 10月11日	濱野利江子	東京慈恵会医科大学	集中治療領域における終末期ケアを考える
心臓血管外科看護セミナー	2008年 8月24日	川島孝太	福岡ソフトリサーチパーク	心臓血管外科周術期患者の看護(呼吸)
	2008年 9月21日		関内新井ホール	
	2008年 10月19日		兵庫県農業会館	

5) 投稿・著書(専門・認定看護師)

雑誌名	年・Vol	投稿者	所属部署名	テーマ
日本クリティカルケア看護学会誌	第4巻2号	北村愛子	看護管理室	看護師の倫理調整の役割と実践
Nursing Mook	49号	北村愛子	看護管理室	救急・クリティカルケアにおける看取り
日本環境感染学会誌	2008年Vol. 20 No.4	川西史子	感染症センター	院内教育の取り組み～ミニ勉強会の開催～
Nursing Mook	49号	藤原由子	外来	患者搬送から救命、死、お見送りまで
Nursing Mook	49号	藤原妙子	中央手術室	倫理的配慮 患者搬入からお見送りまで
看護技術	2008年Vol. 54	濱野利江子	7山	術後疼痛を和らげる看護ケアの工夫
呼吸器ケア	2009年4月号	川島孝太	ICU	NPPVモニタリングの患者の観察 ～日常の観察と必須モニター事項～
月刊ナーシング	2009年4月号	川島孝太	ICU	人口呼吸器装着患者の観察ポイント(安全点検でのポイント)

## 6) 看護学校講師

学校名	氏名	講義内容	所属部署名	講義回数
泉佐野泉南医師会看護 専門学校	小城千絵	脳神経系看護	5海	4
	三宅方子	骨・関節系看護	5海	4
	西川友美	呼吸器系看護	8海	4
	川島孝太	腎・泌尿器看護	6海	2
	吉岡愛子	消化器内科系看護	8山	4
	西村直美	内分泌・代謝看護	外来	3
	濱野利江子	循環器看護	7山	4
	島田洋巳	血液系看護	8山	4
	柳靖子	I C U看護	I C U	5
	南昌子	手術看護	O P	3
	高橋敏江	周手術期看護	7海	4
	川西史子	感染・膠原・ア レルギー看護	感染症	2
	黒石則子	術前・術後の看 護	7海	4
	北美智代	マタニティサイ クルの看護	6山	4
	北村愛子	看護職者の教 育とキャリア開	看護管理室	1
神戸市看護大学	北村愛子	コンサルテー ションの実際	看護管理室	2
大阪府立大学 大学院	北村愛子	急性看護学	看護管理室	1
		看護師の暗黙 知の形式知化		1
		運動生理学		1
大阪市立大学 大学院	北村愛子	急性看護学援 助特論	看護管理室	1
山口大学	北村愛子	クリティカルケ ア看護学特論 II	看護管理室	1
山梨県立大学 大学院	北村愛子	急性看護学	看護管理室	1
徳島大学 大学院	北村愛子	コンサルテー ション論	看護管理室	1
愛知医科大学 大学院	北村愛子	急性・重症患 者看護学持論 IV	看護管理室	1
関西医療大学	北村愛子	プロフェッショ ナルへの道	看護管理室	1
	濱野利江子	プロフェッショ ナルへの道	7山	1
日本看護協会看護研修学校	濱野利江子	集中治療領域 での終末期ケ アを考える	7山	1